



有限会社 福本印刷所



皆さんこんにちは



印刷のことを皆さんはどれ位知っていますか？

生活する上で、印刷物はとても大切なことは解りますよね。

印刷物は家の中や学校で勉強をする時など、私達の生活には切り離せないとても大事なもので、種類もたくさんあります。たとえば、カレンダー、ポスター、新聞、チラシ、雑誌、文庫本、マンガ、教科書、ノート等数え上げるとキリがありません。

今日は、その印刷のことを知って頂きたいと思います。



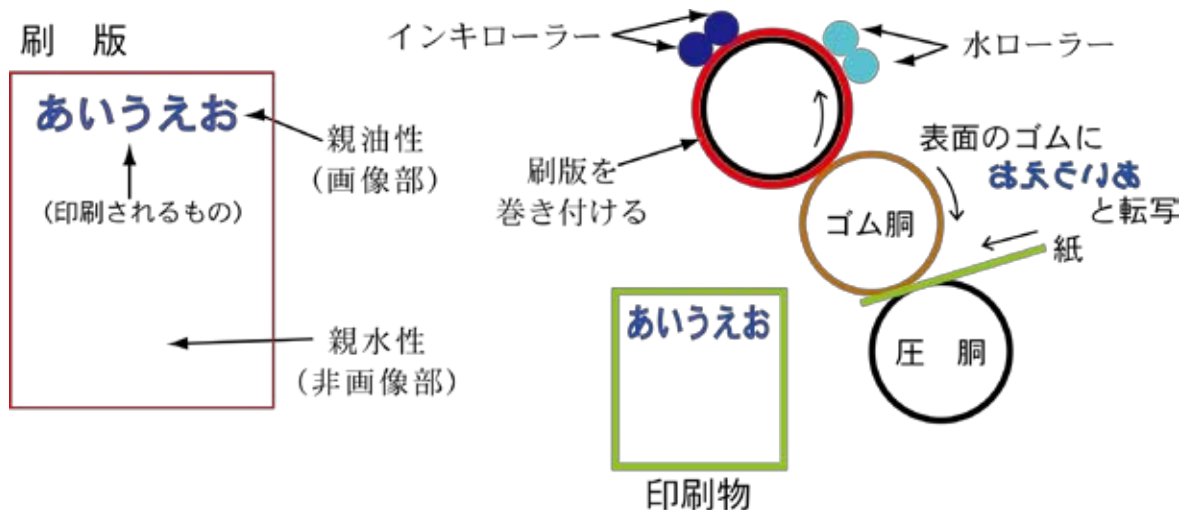
さて、印刷物とはどのようにして出来るのでしょうか？
オフセット印刷という言葉を知ったことがありますか？

オフセット印刷とは平版印刷^{へいはん}ともいい、平らな版で紙に印刷をします。原理は親油性^{ゆせい}と親水性^{しんすいせい}の性質を利用しています。

非画像部（印刷されない部分）に水が付き、その水が付いている所には油性インキは付きません。画像部（文字、写真等、印刷される部分）は水をはじき油性インキのみ付きます。

回転する刷版からゴム胴に転写され紙に印刷をします。

オフセット印刷は大量に印刷する物に向いています。1つの版で何万、何十万枚



も印刷ができます。数の多い印刷物はほとんどの印刷方法で印刷されています。

新聞、週刊誌などは大型のオフセット輪転機で、用紙も巻き取り（ロール紙）で連続に印刷され、そのまま製本工程へと流れ作業で、本や新聞が皆さんが読んでいる形で仕上がって出来てきます。

当社の印刷機は、お客様の需要の関係で小冊子類が多く、本などの印刷に向けたオフセット両面印刷機を使用しています。

また、少ロット（少部数）に向けた高速のカラープリンターを使用しています。

印刷するためには、印刷用の版を作成しなければなりません。最近印刷会社では、コンピュータを利用し、印刷用刷版^{さっぱん}をデジタルで作成しています。

M a c で作成するデータが多く、学校で使用しているW i n d o w s とは少し操作が違ってきます。主に画像編集が多く、そのような作業に向いているのです。



両面印刷機



高速カラープリンター



M a c（製版）

印刷の歴史を皆さんは勉強したことがありますか。



古くは平安時代に仏教の経典を印刷したものがああります。

江戸時代は浮世絵やかかわら版など木版による印刷が盛んでした。

ヨーロッパではグーテンベルクによって聖書を印刷するための活版印刷（活字を組み合わせて直接紙に印刷する。注：ハンコのようなもの）が発明され、飛躍的に印刷物が増えました。

日本にも明治になると活版印刷の技術が導入され、現代のオフセット印刷に続いています。（注：ほかに^{オフハン}凹版（グラビア）、^{コフハン}孔版（スクリーン印刷・ガリ版）など）将来はもっとすぐれた技術によって印刷の世界は変化していくと思われまます。すでに、個人を対象にした印刷物も最近では多く、1万人に1万種類の個人別のダイレクトメールも作られるようになっています。それだけに印刷物はますます多くの新たな需要が出てくると思ひまます。

今後は、1枚の印刷物にも興味をもってその印刷物を読んでいただきたいと思ひまます。配られた印刷物が捨てられているのを見るときとても悲しい気持ちになります。ぜひ印刷物を大切にしてください。お願いします。



最後になりますが、人間の能力は機械がどんなに進歩しても、それに劣ることなく素晴らしいもので、紙面を作るデザインなどの表現力は人の力でしか出来ないものです。皆さんも学校ではしっかりと勉強し自分の能力を高めてください。どの職域の世界も人の力に依って支えられているのです。